

土質ボーリング柱状図（標準貫入試験）

調 査 名 一般県道坂小屋浦線道路改良事業に伴う業務委託（その2）

事業・工事名

調査目的及び調査対象 道路 構造物基礎

ボーリング名			Bor. No.2			調査位置			広島県安芸郡坂町坂西1丁目					北緯		34° 20' 21.4000"				
発注機関			広島県西部建設事務所					調査期間			平成31年 9月19日～平成31年 9月27日					東経		132° 30' 49.5000"		
調査業者名					主任技師					現場代理人		コア鑑定者		ボーリング責任者						
孔口標高		T P 4.13m		<div>角 度</div> <div><div>180° 上 下 0°</div><div><div></div><div></div><div></div></div><div>90° 0°</div></div>	<div>方 向</div> <div><div>北 0° 西 270° 東 90° 南 180°</div><div><div></div><div></div><div></div><div></div></div></div>	<div>地盤勾配</div> <div><div>0° 水平 0° 鉛直 90°</div><div><div></div><div></div></div></div>	<div>使用機種</div>	試錐機 東邦D-0型												
総掘進長		19.00m						エンジン ヤンマー NFD12					ポンプ 東邦製BG-3							

標尺	標高 (m)	深度 (m)	現場土質名 (模様)	現地土質名	地盤材料の工学的分類	色相対密度	相対稠度	記事	孔内水位／測定月日	標準貫入試験						試験採取		室内試験	原位置試験		削孔月日	
										N値	深度 (m)	100mm毎の打撃回数 0 100 200	打撃ごとの貫入量 50回の貫入量	自沈時の貫入量	深度 (m)	試験番号	採取方法		深度 (m)	試験名及び結果		
深度－N値図																						
1				盛土		茶灰 rd2		表層は、アスファルト・コンクリート片など人工物となっている。 砂は、細砂～中砂を主体とし、概ね乾燥した状態にある。 礫は、φ10～20mmの垂角～垂円礫を混入する。	9/20 16.35	9	1.15	2	2	5	9							
2	2.33	1.80		砂混じり粘土		黒灰 rc1		含水の多い細粒土～細砂を主体とし、粒径ほぼ均一である。 細礫が点在する。 深度方向に砂分の含有多くなる。	9/20 2.45	0	1.47					450	2.15	物理的				
3										0	2.15	0			0							
4	0.43	3.70		礫混じり砂		暗灰 rd3		砂は、細砂～中砂を主体とし、細粒土を多く含む。 礫は、φ5～10mm程度の垂円礫を含む。 GL-7.4m付近に有機物を混入。	9/20 2.45	5	2.60	1	1	3	5		2.60					
5										11	3.15	1	1	3	5							
6										11	3.45											
7										9	4.15	3	4	4	11							
8										9	4.45											
9										9	5.15	3	3	3	9							
10	-6.17	10.30								18	5.45											
11				玉石混じり礫		淡赤茶 rd5		砂は、中砂～粗砂を主体とする。 礫は、φ10～40mm程度の垂角～垂円礫を混入する。 マトリックスは、細粒土で覆われている。 GL=10.5m、11.2m、12.5mに花崗岩質の玉石(短柱状5～15cm)を確認。	9/20 2.45	18	6.15	4	4	10	18							
12	-8.67	12.80								5	6.45											
13	-9.47	13.60		砂礫		淡赤灰 rd5		中砂～粗砂を主体とする流れマサを主体とする。 φ20～30mm程度の垂角礫を含む。 礫は、基盤岩質の風化礫である。 孔壁の自立困難であり孔内原位置試験不能となる。	9/20 2.45	18	7.15	1	1	3	5		8.15	物理的				
14										18	7.45						8.45					
15										18	8.15	5	6	7	18		8.45					
16										18	8.45											
17				花崗岩		淡茶灰 rd5		全体的に風化した花崗岩である。 外周および岩組織を残すものの、コアが細く、指圧にて容易に砕け土砂～礫状となる。 観察による岩級区分はDM級～に相当する。	9/20 2.45	32以上	9.15	5	6	7	18							
18										52以上	9.45											
19	-14.87	19.00								52以上	10.15	7	9	36	52	300						
20										50以上	10.45						11.15	物理的				
21										50以上	11.15	50			50	60	11.21					
22										38	11.21	60			60							
23										50以上	12.15	14	14	10	38							
24										50以上	12.45											
										50以上	13.15	20	21	9	50	240	13.15	物理的				
										50以上	13.39				40		13.39					
										50以上	14.15	35	15		50	130						
										50以上	14.28			30								
										50以上	15.15	50			50	80						
										50以上	15.23	80			80							
										50以上	16.15	50			50	80						
										50以上	16.23	80			80							
										50以上	17.15	50			50	80						
										50以上	17.23	80			80							
										50以上	18.15	50			50	40						
										50以上	18.19	40			40							
										50以上	19.00	50			50	90						
										50以上	19.04	90			90							